

第3回 統合準備委員会（板橋・東）

《 令和元年9月4日（水）午後7時00分～ 市教育棟2階会議室 》

- 1 開 会
- 2 事務局紹介
- 3 委員長あいさつ
- 4 協議事項

(1) 検討部会経過報告などについて

ア 総務部会

総務部副会長	： 会長に代わりまして報告させていただきます。 7月30日に第4回の総務部会を実施しました。 まず通学方法ですが、教育委員会において今後、スクールバスに係る要綱作成等の行政手続きを行い、その後、乗車対象者への乗車意向調査を実施する予定。また、年度内に試走を実施し、時刻表を確定させていきます。次回の総務部会においては、バス停の詳細な位置や写真を付けた資料を確認し、バス停の位置を確定していく予定です。 学校名については、8月15日から、地区の回覧等を通して公募を開始しているところです。総務部会内では学校名を絞り込み過ぎず、幅を持たせて統合準備委員会に提出し、統合準備委員会の会議において、総務部会も合同で投票するという事に決定しました。 体操服ですが、アンケートの結果上位となった「A」「B」「E」の長袖及び半袖について、女子児童の透け防止対策やカラー等について、専門業者を会議へ招聘し、その資料や説明を基に、次回決定していく方向性となりました。 校章及び校旗については、校章は原則、公募の方向性で決定していくという事で、今後、公募を一般公募とするのか地域を限定するのか、また、詳細な審査方法などは、これから協議していきます。 校旗は、校章が決定後に発注となりますが、刺繍旗は、納期に4～5ヶ月要するという事で、開校後の完成となる予定です。 その他の議題という事で、校歌、閉校行事関係、開校記念式典については、次回以降の議題ということとしております。以上でございます。 事務局の方から補足説明をよろしく願いいたします。
事務局	： はい。事務局の方の追加の説明という事で、学校名に関するところで、説明させていただきます。 資料2をお手元にご準備いただきたいと思います。まず1点目は、前回の統合準備委員会で決定した「学校名の投票を総務部会員と合同で実施する」ということに関する部分です。スケジュールを確認しますと、現在行っている公募につい

	<p>ては、9月16日が締切です。その後、9月24日に総務部会に諮り、次の統合準備委員会で合同投票となります。合同投票は、資料2のとおり、統合準備委員会と総務部会員を足した構成人数について、板橋地区と東地区の人数が、同数になっていない状況が確認できます。</p> <p>この理由としましては、2つの委員会を兼務していただいている委員さんがいらっしゃることや、学識を有する委員で、板橋地区から委員長を任命させていただいていることによるものです。総務部会員が全員出席していただいた場合の想定ですが、板橋と東の構成人数が異なるため、これを同数に合わせる必要があるのか、もしくはその必要はないのか、皆様からご意見を伺いたいと存じます。</p> <p>続いて2点目、投票によって学校名の原案を決定することとしましたが、具体的にどのような手法で投票を行うのかという点で、資料2の裏面をご覧くださいと思います。</p> <p>事務局としましては、投票方法を2つほど提案させていただいております。資料左側の単記投票というものは、一般的な投票で、多数決で決定するもので、通常の選挙のようなイメージです。この場合、例として表にしておりますが、例えばA小学校が良いという方が3名、B小学校が2名、C小学校も2名、D小学校が1名という結果が出たら、多数決であれば、3票を獲得したA小学校が学校名の原案となるということが理解いただけると思います。こちらのメリットは単純明快であり、民主的で公平性があります。</p> <p>デメリットとしましては、1位以外を選んだ方の意見が反映されないというところがあります。1位に決まったA小学校3票に対し、それ以外の5票、その方々の意見は反映されないこととなります。</p> <p>もう一つが、名前としては横文字のボルダ投票というものになります。こちらは点数制の投票になります。こちらは1位のものだけを選ぶのではなくて、1位2位3位4位とそれぞれ点数を付けて、順位を見ていくものです。例えば、先程A小学校が良いとした3名は、A小学校に一番高い点数を付けますが、この3名が、2番目や3番目にどういったところを支持しているかといった意見もくみ取れるものです。この結果を見ると、先程1位であったA小学校に3名が一番多く点数を付けたとしても、全体的に支持されたのは、C小学校ということになります。こちらのデメリットとしては、嫌だと感じるものに意図的に0点を付けてしまうことができるという点です。</p> <p>長くなってしまいましたが、投票に係る構成人数と投票方法の2点につきまして、皆様から意見を頂戴したいと思います。</p>
<p>委員長 :</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ただいま、副会長から報告が終了しました。まず、総務部会として4つの案件がございましたので、まずは通学方法について、皆様からご意見・ご質問を頂戴したいと思います。いかがでしょうか？</p>
<p>委員 :</p>	<p>(異議・質疑なし)</p>

委員長	:	特にならなければ、現在の検討経過を承認し、引き続き部会において検討いただくということによろしいでしょうか。
委員	:	(異議なし)
委員長	:	ありがとうございます。異議なしという事で引き続きお願いいたします。 次に、ただいま事務局からも追加説明がありました2つ目の学校名について、まず合同投票における板橋地区と東地区の構成人数の差異について、説明がありました。 このことについて、構成人数を合わせるかどうか皆様からご意見を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。 東小学校地区の方が人数が少ないという事で、投票するにあたり、公平性に問題はないかどうかという点です。ご意見をお願いいたします。
委員	:	それは、三島も同じなのではないですか？
事務局	:	三島小学校の方もご意見のとおり、5名ということで、人数が少ないところはございます。 事務局として危惧しましたことは、今回は板橋小学校と東小学校の統合ということで、少なくとも、その板橋小学校と東小学校の人数差の公平性についてであります。その点を皆様に審議していただきたいということでございます。 前回の統合準備委員会の中で、総務部会の皆様も合同で検討したいという話をいただき、人数的に板橋10名・東8名・三島5名となっているわけですが、板橋小と東小の統合という事で、板橋と東の数を合わせるべきかどうかというところ。そのまま問題ないか、合わせた方が良いか、心配していたところ。
委員	:	そんなには気にしていません。
委員長	:	そのまま全員の投票という形によろしいでしょうか。 皆さんいかがですか？
委員	:	前回、私から、色々直接的な検討をされている方々なので、合同での投票を提案させていただいたかと思えます。 こういった議論が出るということ自体、数は合わせた方がすっきりすると思います。何かでどこか合わせる事が出来るのであれば合わせた方が良いと思いますが、何か良い案はありますか？ 意見としては、合わせられるなら合わせた方が良いという意見です。
委員長	:	事務局の方で案があればお願いします。
事務局	:	〇〇委員のおっしゃったように、全員で投票するというのが1つのパターン、もう1つといたしましては、人数を合わせるということで、委員長と副委員長を除いた形で、数を合わせるパターンがあるかと思えます。
委員長	:	はい。委員長、副委員長が地区としては板橋地区になっているので、そうすれば人数が合うということで事務局からの案でした。 他にご意見はありますか、どういたしましょうか。〇〇委員いかがですか？
委員	:	私ばかりではなく、他の方はどうでしょうか。他の方の意見も聞いてみたいです。

委 員	:	先程,〇〇委員がおっしゃったように合わせる事ができるのであれば合わせていただいた方がいいのかなとは思いますが、三島小学校は、もともと関与しているけども、実際は、生徒は入らないので投票するっていうのは微妙かなと思います。合わせられるなら東小学校、板橋小の数字は合わせていただければ公平性は保てる。正直なところ、そんなに気にしてはいなかったけれど、合わせていただければ、なお良いと思います。
事 務 局	:	事務局からの提案ですが、先程人数を合わせる方向で、委員長と副委員長を除き、通常の議会でも議長は採決権がないということもございますので、合わせていくということで提案したいと思います。いかがでしょうか。
委 員 長	:	はい。事務局から提案がありました。人数を合わせるという事でいかがでしょうか？
委 員	:	内容をよく把握せずに質問していたら申し訳ないのですが、数を合わせてもらうというのもあったんですが、三島小としたらちょっと荷が重いというか、三島小は、投票に参加しなくともよいのではないかな。来年以降は、三島の子たちも行くかもしれないけれど、その子たちが選ぶわけではないのでしょうかないっていう気持ちもある。投票する権利をもらっても、荷が重いといっっては失礼ですが、実際に通う子がいない状況の中でどうなのでしょう。
委 員	:	<p>〇〇委員がおっしゃるように、三島小学校の現在の在校生で、板橋・東の統合した学校へ行くということを希望している子どもは現状では0です。今後、地域的にその学区に住んでいる子が上がってきます。兄弟がいる子は、恐らくそちらではなくて、伊奈中学校への進学を望む傾向も強いと思います。</p> <p>今後、そういった中学校の進学にとらわれないで、地域的に自分は板橋小のある場所に通うという事が決まっていって納得して進学する子どもが出て来ると思うのです。</p> <p>そういった状況ですので、〇〇委員がおっしゃるように校名についての投票については、荷が重いというところは正直あるところはあります。危惧されることとしては、東と板橋の統合だから、それぞれの校名にちなんだ名前を合わせたような校名にしようとなった場合に、何となく三島から来る子はうちの地区は見捨てられているのかなというようなことを感じてしまうのではというのが危惧される。そういう事に関していえば、統合準備委員会、総務部会で協議しますよね？いきなり投票じゃないですよ？ですので、そういった場面においては、少々発言させていただいて、三島の住民の方が淋しい思いをしないような方向になるようにさせていただきたいと思います。以上です。</p>
委 員	:	極端な話を申し上げますと、板橋の中で、「板橋」という名前を残したい、それにちなんだ名前にしたいっていう話が聞こえている中で、例えば、板橋にちなんだ名前という方向になったときに、板橋の10人が10人投票して、東は8人。三島は、心情としては、学校がなくなってしまうので、東と同じ気持ち。そうすると、板橋を推してしまうと、谷井田・三島の統合も同じようになってしまう。人数合わせもそうですし、投票についてはちょっと考えた方がいいのかなって

		う心情的な話なんですけど、〇〇委員が発言をするというので、そちらはお任せしますが、やっぱり投票人数というのは、シビアに考えた方が良いのかなと思います。
事務局	:	はい、ありがとうございます。一度整理をさせていただきたいと思います。板橋地区と東地区につきましては、人数を合わせて8名ずつ。三島地区につきましては、今のご意見からすると、総務部会・統合準備委員会、合同の投票にはあえて参加せず、総務部会の中での意見・発言をしていくというところでございます。そのご意見としますと、次回の総務部会が9月24日火曜日でございますので、一度その内容を総務部会の方で判断をとということでしょうか。
委員	:	私は、統合準備委員会の方で発言をする。準備委員会でも協議はしますよね。
事務局	:	<p>〇〇委員のお話は、一度専門部会の中で何点か選んでいただいて、その中で統合準備委員会で協議をした上で、投票というようなイメージですね。</p> <p>これから、投票方法の話になるのですが、例えば単記投票というものについては1人1票しか投票できないので、〇〇委員のような心配が出て来る可能性がある。一方、ボルダ方式でいいますと、2番目、3番目の支持率といえますか、そういう点で、若干の違いが出て来る。例えば、極端な話で、1位3点と2位2点、3位1点が、入れ替わったとしても潜在的な意見は反映されて上がってくるので、投票方式を決めてから、改めて三島地区の委員が投票に参加するかどうかをご協議いただければというところでございます。</p> <p>申し訳ございませんが、これについては、一旦、事務局の方で仕切らせていただき、先に投票方式のご協議をいただきたい。事務局の方からは、先程2点ほどお示しさせていただきました。まずは通常の選挙のような1人1票方式、あと2つ目のボルダ方式といいまして、1位2位3位という点数の形の投票方法の説明をさせていただきました。この投票については、校名を決める最も大事なところですので、特に協議いただきたいところでございます。</p>
委員長	:	はい、では先に投票の方法、単記投票、ボルダ投票というところで、この投票の方法から決めたいと思います。方法について分からないことがあれば質疑の方をお願いします。
委員	:	選択肢がいくつになるか次第かなと思います。選択肢がすごいいっぱいあったら、単記投票だと2票だけで決定となったりしそうな気がする。
事務局	:	<p>今、〇〇委員からありました選択肢の部分についてでございますが、9月16日までの募集期間でございます。募集が完了次第、その集計をして総務部会に提出させていただこうと思っております。現在の応募数としましては、約30件ほど届いております。これは、回覧等で行わせていただいたもので、公共施設に提出されたものみの数でございます。</p> <p>現在、各小学校の方において、生徒に応募用紙を配付いただき、募集しているところでございますので、その数はプラスしてくるものと期待しております。その結果、例えば、50種類の名前の応募があったとします。50種類をそのまま統合準備委員会の場に持ってきて、なかなか決めるのは難しいと思いますの</p>

		で、総務部会の中で、10や15くらいに一旦絞り込んだものを統合準備委員会に上げて、その中から選んでいくという方法があるかと思います。〇〇委員がおっしゃるように、統合準備委員会の中でいくつくらいの名称を上げておくかということも、この場で審議いただければと思います。
委員長	:	今、事務局から説明がありました。あまりにも数が多いと選ぶのが困難ということで、10、15とありましたけれど、何かご意見はありますか？
委員	:	意見としては、最終的に決めるのは単記投票が良いと思います。 先程話があったように、例えば10以上だと2段階にわたってボルダ投票みたいなものを作って、その上位で4つとか5つとかに絞ってから単記投票などはどうでしょうか。 一般的な数がわかりませんが、出てきたものを並べてみないとわからない。総務部会も悩んでしまうと思うので、時間はかかってしまいますが、数が多かったら、そういうのはどうかなと思います。
委員長	:	他にご意見はありますか？
委員	:	少し整理ができず重複した質問になってしまうかもしれませんが、今回すでに30通くらい応募が来ているという事で、合計いくつ来るかはわかりませんが、それを事務局の方で集計していただき、全て総務部会に上げるというのが前段にあるんですね？ 挙がったものの名前は全て列記し、総務部会でさらにその中で審議して、いくつか選んだものを今度は、統合準備委員会の方で投票するという形を取るという事でよろしいですか？ 総務部会で、〇〇委員もおっしゃったように、合計いくつ来るかわからないという前段がどうしてもあると思うのですが、ここで何択かに絞った方がいいということ審議した方が良く思う。一般的にはどのくらいまで絞り込んだものを投票すべきなんでしょうか？
事務局	:	はい、ご意見ありがとうございます。統合準備委員会での話をしますと、〇〇委員のおっしゃるように、一回の投票で決めるというよりも、一回目をやって、その上位で二回目という話からすると、一番最初に、ボルダ投票でやってみて、その上位3ないし上位5に対して、単記投票で2回目という方法もあるのかなと思います。 〇〇委員からございましたのが、今の方法で行くと仮定した場合、最初にボルダ投票をするにあたって、それが30も40も項目があつては、やはりなかなか選びづらいというところで、総務部会で絞ったものを統合準備委員会に上げるというやり方、それが10が良いのか悪いのかは別としまして、先程、委員長からございましたように、統合準備委員会として何種類くらいが良いのかを審議いただければと思います。 数につきましては、前回の総務部会の報告もございましたが、資料にもございますように、“総務部会内では学校名をあまり絞り込み過ぎず”というようなご意見も出ているところもございますので、そのあたりも踏まえながら、総務部会

	<p>で何種類にしてほしいということをご協議お願いいたします。</p> <p>発言をしにくい部分もあるかと思しますので、一つ提案なのですが、総務部会で15程度に絞ってもらって、その15について統合準備委員会では、まず1回目はボルダ投票で、1から15までを点数付けするのではなく、それぞれが良いと思うベスト3などを1位3点、2位2点、3位1点というような形で、無記名で点数付けをして、その上位3つないし5つについて、決選投票という事で、単記投票というやり方ではいかがかということをご提案させていただきます。</p>
委員長	<p>： 今事務局から提案がありましたが、総務部会の方から15点、候補をあげていただいて、準備委員会の方では、一度ボルダ方式を実施し、ボルダ方式で上位5位程度になった校名を今度は1人1票で投票するという2回の投票について、説明がありました。この方法で実施するのはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>： 2回目の単記投票をするときは、3ですか、5ですか？そこははっきりさせなければいけないと思います。</p>
委員長	<p>： 上位5位という方向で、校名を決めていく。</p> <p>その方向でよろしいでしょうか。異議なければ決定いたします。</p>
委員	<p>： (異議なし)</p>
委員長	<p>： ありがとうございます。次に、先程と前後しますが、構成人数の方で、投票の構成人数については、先程人数を合わせるという意見と、三島地区の委員は投票については辞退するかどうかということがありました。</p>
委員	<p>： 投票をしないというのは若干語弊がありますので、決めるまで時間をください。今すぐ決めた方がよいですか？</p> <p>〇〇委員や〇〇委員などもいるので私一人の意見では即答しかねるのですが。</p>
事務局	<p>： 〇〇委員からありました意見は、三島地区5名の方が投票するか否かについて、三島地区でご相談いただいた後、事務局の方に報告いただくということで、他の委員の方々ご了承いただければ、そのような形としたい。その結果について承認するかは、次の統合準備委員会で皆様にその場でご了承いただければそうしたい。そのような形としてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>： わがまを言って申し訳ありません。</p>
委員長	<p>： それでは構成人数については、ただいま説明がありましたとおり、異議がなければ次回に決定したいと思います。</p>
委員	<p>： (異議・質疑なし)</p>
事務局	<p>： それでは、何度も申し訳ありませんが、再度確認をさせていただきます。</p> <p>統合準備委員会の案としては、次回9月24日に開催される総務部会で、15個程度の校名に絞り、第4回の統合準備委員会に合同で、まずボルダ投票を行う。その上位5つの中で、単記投票で決定する。三島地区の方の投票については、一度PTAや学校の方などご相談いただき、参加するかどうかを次回の投票の前に協議・確認をしていくということで、間違いはないでしょうか？</p>
委員	<p>： (異議・質疑なし)</p>

委員長	：	<p>では次に、3つ目の体操服についての報告ですが、この報告については、次回で決定していくという方向性になりましたが、何かご意見やご質問はございますか？</p> <p>無いようでしたら、3つ目の体操服については、現在の検討経過を承認し、引き続き部会において検討していただくことでよろしいでしょうか。</p>
委員	：	(異議・質疑なし)
委員長	：	<p>ありがとうございます。それでは引き続き部会としての協議をお願いします。</p> <p>次に、4つ目の校章・校旗についての報告ですが、何かご意見やご質問はございますか？</p> <p>特に無いようでしたら、4つ目の校章・校旗については、現在の検討経過を承認し、引き続き部会において検討していただくことでよろしいでしょうか。</p>
委員	：	(異議・質疑なし)
委員長	：	<p>ありがとうございます。それでは引き続き部会としての協議をお願いします。</p> <p>総務部会からの報告は以上になりますが、全体を通して、何かご意見やご質問がございましたらお願いします。</p>
委員長	：	<p>内容ですので、総務部会からの報告については、以上となります。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、学校運営部会の報告等に移りたいと思います。学校運営部会の部会長であります〇〇委員より発表をお願いいたします。</p>

イ 学校運営部会

学校運営部会長	：	<p>運営部会の報告をいたします。資料の4番をご覧ください。</p> <p>まず検討の経過ですが、第3回検討部会を7月9日(火)に東小学校で行いました。</p> <p>合同研修会と書いてありますが、これは東小学校と板橋小学校の教職員が集まって、東小において主に、教育課程について研修を行いました。</p> <p>また、第4回検討部会を8月29日(木)板橋小学校において行いました。</p> <p>具体的な検討内容についての経過は、まず、①の学級編成については、ほぼ人数は確定しています。次のページに現段階での人数とクラスの構成について記載しています。多少、これからプラスマイナスが出るかもしれませんが、現時点での人数での資料となります。</p> <p>②の日課表(時間割)についてですが、東小と板橋小は、小学生の生活なので、ほぼ同じ時間帯で生活しているのですが、5分程度ずれているということがあります。現状としては、関鉄バスの利用が板橋小学校の児童はあるので、そのバスの登校時間に合わせたものにせざるを得ないので、東小の時間を変更し、板橋小に時間を合わせる形で、東小学校の保護者には1学期末で通知し、9月から板橋小の時間に合わせて生活を開始して、慣らせているところです。</p> <p>③の公務分掌については、学校の教職員の規模などを考えると、板橋小の校務分掌をベースに考えるのが望ましいということで、板橋小学校の校務分掌をベー</p>
---------	---	--

	<p>スに検討しています。新たに加わる分掌としては、スクールバスとか東小・板橋小のメモリアルルームといったものを設置することになれば、そういった管理の担当を置くなどといったものです。細かい点については今後、検討していくこととなっています。</p> <p>④の校訓につきまして、今すぐに決めるということではなく、必要性も含めて開校後に、新校長のもと学校で検討していくという方向になりました。</p> <p>⑤の新入生・在校生保護者説明会については、新入生保護者説明会は、2月12日(水)板橋小学校において、合同開催とする方向で調整しています。在校生の保護者説明会につきましては、日程等ははっきりしていません。会計についてどうするのかなど検討することが出て来るので、そういったものを状況を鑑みて検討していきます。</p> <p>⑥の合同研修会の報告については、先程の学級編成の次のページから3枚にわたって研修した内容、調整していく必要があるようなものを中心にそれぞれ部会に分かれて検討しましたので、その報告がそちらに出ています。そちらをご覧くださいただければと思います。</p> <p>2番のその他ということで、スクールバスの試走日時は、両校の行事日程を確認し、第一候補日を2月20日(木)としました。実際に、朝登校する時間に合わせて試走するというので、午前中くらいで、少し両校の交流も行って給食前には戻ってくるような形でやってみようということで、今調整しているところです。詳細については、また今後検討していくことになっています。</p> <p>3番の予定としましては、10月31日に東小にて第5回の検討部会の予定となっています。以上です。</p>
委員長	： ありがとうございます。ただいまの発表につきまして、全体を通してご意見ご質問はございますでしょうか。
委員	： スクールバスの試走という事で2月20日に予定されていると思うのですが、これは通学する時間にその場所に行って子どもを拾って行って板橋小学校に行くってというような形の試走ということによろしいですか？
事務局	： はい、そのとおりです。
委員長	： ほかにございますか？ 無いようでしたら、学校運営部会の報告を承認してよろしいでしょうか。
事務局	： (異議・質疑なし)
委員長	： ありがとうございます。それでは引き続き部会としての協議をお願いします。最後に、PTA部会の報告等に移りたいと思います。PTA部会の部会長である〇〇委員より発表をお願いいたします。

ウ PTA部会

PTA部会長	： はい、それでは私の方から発表させていただきます。 資料は2枚あり、部会の記録用紙裏表と、統合校の規約を左右に比較したものになります。 まず、記録用紙から発表しますと、第3回PTA部会としまして7月17日
--------	---

(金)に、東小のなかよしホールで行ってまいりました。板橋、東、三島の3校をまとめていると色々複雑なので、板橋と東の2校をベースに検討していくということを前回決定し、別紙の方で比較して並べたものを基に、内容の確認を取ってまいりました。

まずPTAの規約について。資料別紙の統合校(仮)のPTA規約に関する検討に沿って両校の相違点やどちらにすり合わせていくかについて実施してきました。

決定事項としましては、資料に記載している矢印の部分について、大きな異論はなく、次回、役員や委員会等を形にして、組織を決めていく方向で決定しました。

主な意見や内容は、次ページにかけて記載しています。別紙の方を見ていただきたいのですが、左側に板橋小学校、右側に東小学校とし、規約名称の所で、規約とか会則とか意図しているところは一緒なので、タイトルはどちらに統一しても良いということが書いてあります。その下のPTAの名称とその所在とかいうところなども、全部は読みませんが、両校の比較をしながら、進めていこうと考えています。

1枚目の一番下に、役員について記載がありまして、板橋は、会長1名、副会長4名、事務局父母のところと、教職員のところと合計13名、父母が11名、教職員が2名という形。東は、会長1名、副会長2名、書記2名、会計2名の中で、教職員としては2名、父母は5名となっています。全体的に父母11名+5名だと多いので、13名くらいで良いということを本部メンバーで確認していて、PTA部会の方でも確認をしていきます。

記録用紙の主な意見で、女性ネットワークは、本部とは別に出張や研修があって忙しいという所で、本部の中に役割を組織している方が良いということがありました。板橋も女性ネットワークは、幹事が兼務しています。

また、板橋祭と、東の三世代交流会は日程が同じなので、どうしようかという意見があって、三世代交流会は今後も開催されるのか、青少年育成の青年部が主催であり、来年度の構想に至っていないようです。これまで少人数だからできていた昔遊びの材料や教える側の人数の問題もあるということでもまだ未定。青少年育成も、学校が一緒になれば東と板橋を合併もあると思うというような話も出ました。

役員会の開催について、そんなに多くの回数は必要ない。板橋は日中開催していますが、市内では日中やっているところではなく、夜にしたいなと思っていますが、来ているお母さん方は昼が良い。そのあたりの開催についても検討していきたいと話しています。

後は、会費の所で、残会計について、準備金を残してあとは0にすべきという意見があって、どのようにすべきか引き続き考えていく必要がある。

新しい学校というところで、3学期の運営委員会で、来年度の役員決め等に関する臨時規約を作って、誰が役員をやるかというところについて、色々考えなけ

	<p>ればならない所などを確認していきます。</p> <p>以上、検討の確認をPTA部会でしました。PTA部会では次回、10月2日行う予定になっています。ここまでにある程度の案を作って、確認をしていきたいと考えております。</p>
委員長	<p>： ありがとうございます。ただいまの発表につきまして、全体を通してご意見ご質問はございますでしょうか。</p> <p>無いようでしたら、PTA部会の報告を承認してよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>： (異議・質疑なし)</p>
委員長	<p>： ありがとうございます。それでは引き続き各検討項目の協議をお願いします。</p> <p>これで各検討部会からの報告が終了しました。</p> <p>続きまして、次第の5「その他」について、事務局より説明をお願いします。</p>

5 その他

事務局	<p>： (次回の日程説明)</p>
-----	--------------------

6 閉会

以上